

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年12月3日(木)13時30分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他 12名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・他プラントにおいて採用実績のある評価方法や対策については、他プラントにおいて実績があることのみで判断するのではなく、その適用性について丁寧に説明すること。
- ・没水に係る機能喪失高さについて、ポンプ、排風機等の機能喪失高さを電動機下端としているが、それぞれの機器の形状等を考慮した上で一律に電動機下端と設定するのが適切か、確認の上説明すること。
- ・没水影響の評価においては、水面のゆらぎを想定して余裕しろを確保することを検討すること。
- ・溢水影響評価においては、防護対象設備に付帯する電源ケーブルや計装設備についても考慮されていることを説明すること。

(資料2について)

- ・硝酸根分解設備の工学試験から実機へのスケールアップに当たって、不確実性を含む事項があるのであれば、その旨を説明すること。また、その不確実性を含む事項について、コールド試運転において確認する計画であれば、その内容を具体的に説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：再処理施設の内部溢水の影響評価について

資料 2 : LWTF に係るこれまでの試験結果の概要と今後の対応について

資料 3 : 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について